

2007年 月刊『HOUSING』調べ 注文住宅と住宅設備に関する動向調査

2008年4月25日

株式会社リクルート
住宅カンパニー注文・リフォーム&リゾートディビジョン
ディビジョン長 安江良一

月刊『HOUSING』では、注文住宅建築者の建築実態を把握するために、「注文住宅と住宅設備に関する動向調査」を毎年実施しています。2007年の傾向がまとまりましたので、ご報告いたします。

<< TOPICS >>

- 新築・建て替えのきっかけは、30代以下では「いつかは一戸建てに住みたいと思っていた」が最も高く、半数以上を占めている。…………… P4
- 住まいづくりの過程における主導権を世帯主の年齢別に見ると、34歳以下では他の年代に比べて夫婦「二人で決めた」割合が高い傾向が見られる。…………… P5
- 世帯主の年齢が若いほど、あまり多くのショールームを訪問せずに住宅建築をしている傾向が見られる。…………… P7
- こだわった設備は、1位「キッチン」2位「バス」3位「トイレ」等、水まわりの設備が上位を占めている。…………… P8

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

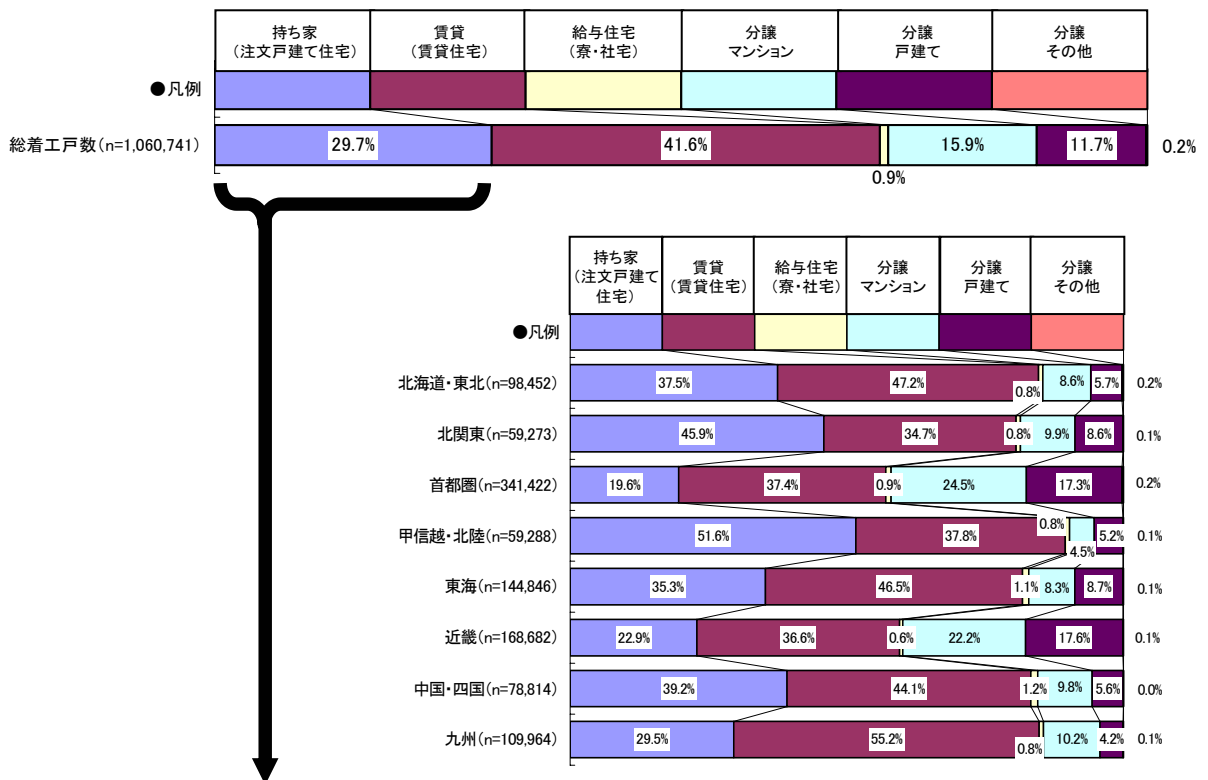
HOUSING

調査概要

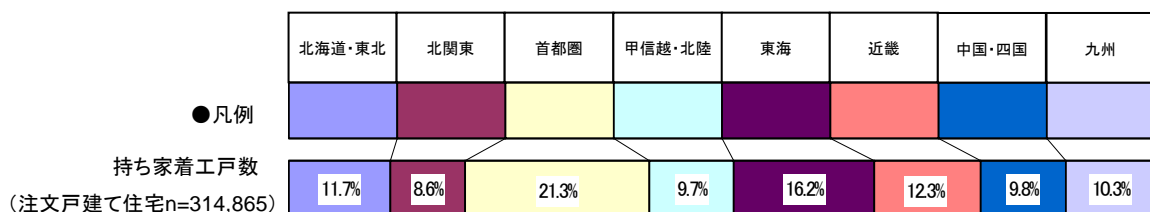
- 調査目的 ... 1. 注文住宅と住宅設備に関する計画や購入の実態を把握し、関係各社の参考資料とする
2. 『月刊HOUSING』の今後の編集・企画のための参考資料とする
- 調査対象 ... 『月刊HOUSING』および『住まいの設備を選ぶ本』読者で、下記のいずれかに該当する世帯対象
 - ・2006年1月以降に新築・建て替え済み
 - ・住宅メーカー（工務店・建築事務所等を含む）と契約済み
- 調査方法 ... 郵送法（事前にアンケート協力の了承を得られた世帯に発送）
- 調査期間 ... 2007年8月16日～8月31日
- 有効回答数 ... 1. 調査票発送数：1,194件
2. 回収数：876件
3. 集計対象数：866件（有効回答率72.5%）

《参考：住宅建築マーケット》(2007年1月～12月)

* 国土交通省「住宅着工統計」

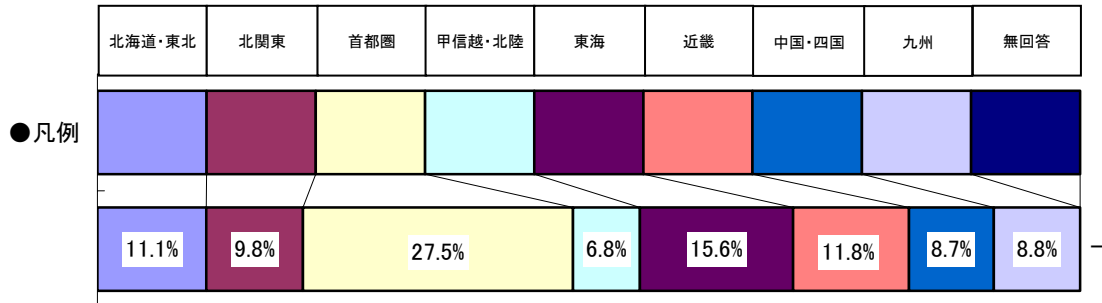


■持ち家着工戸数：住居エリア別

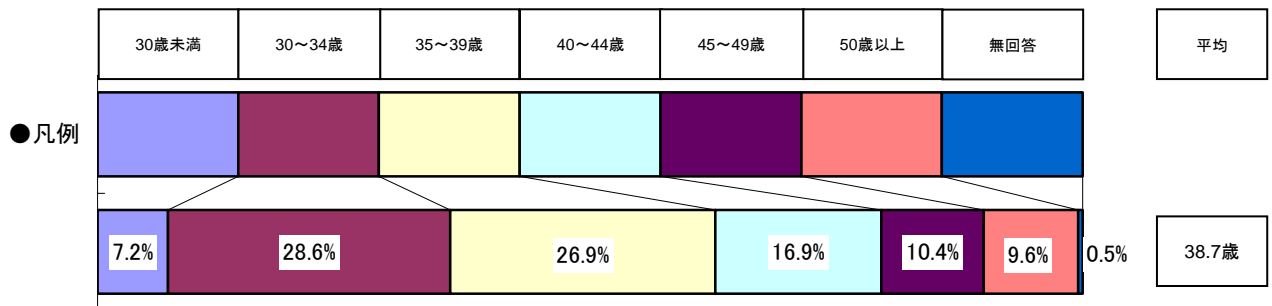


回答者プロフィール

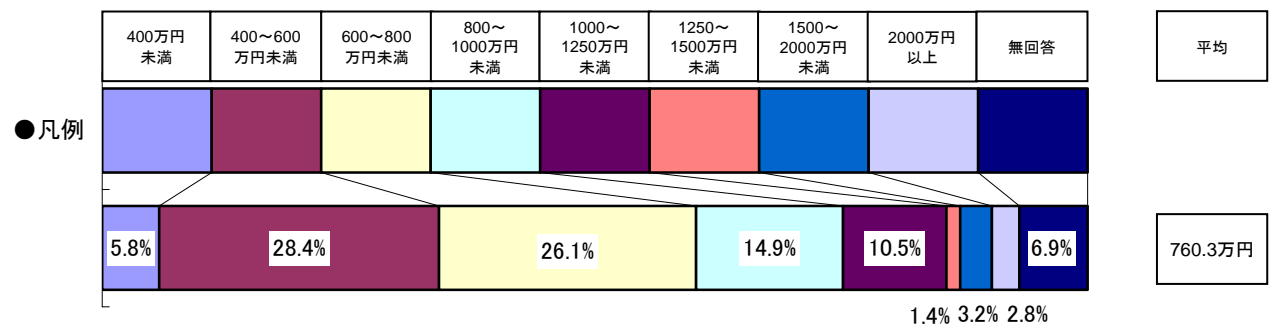
■居住エリア(全体/単一回答/n=866)



■世帯主年齢(全体/単一回答/n=866)



■世帯年収(全体/単一回答/n=866)



TOPICS

新築・建て替えのきっかけは、30代以下では「いつかは一戸建てに住みたいと思っていた」が最も高く、半数以上を占めている。

●新築・建て替えのきっかけを世帯主の年齢別に見ると、30代以下では「いつかは一戸建てに住みたいと思っていた」が最も高く、半数以上を占めている。40歳代や50歳以上になると、「家が古くなった」「住宅設備が古くなった」等の住宅の老朽化に関する項目の割合が高くなっている。

■新築・建て替えのきっかけ(全体/複数回答)

(「その他」を含む23項目中、各年代ごとに割合の高い上位10項目のみ抜粋)

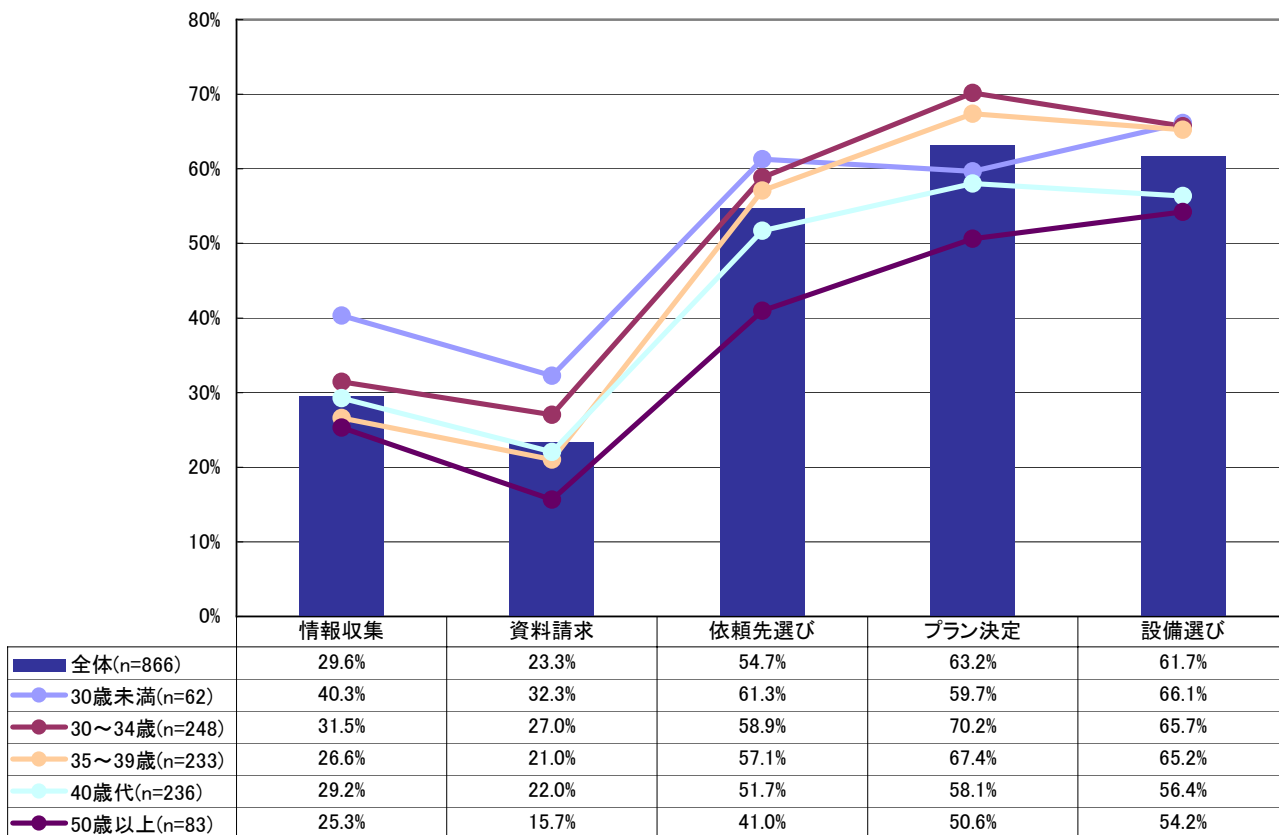
	30歳未満 (n=62)		30~34歳 (n=248)		35~39歳 (n=233)		40歳代 (n=236)		50歳以上 (n=83)	
1	いつかは一戸建てに住みたいと思っていた	61.3%	いつかは一戸建てに住みたいと思っていた	61.3%	いつかは一戸建てに住みたいと思っていた	52.4%	家が手狭になった	41.1%	家が古くなった	51.8%
2	金利の動向を見て	37.1%	家賃が高い(もったいない)	47.6%	家が手狭になった	39.9%	いつかは一戸建てに住みたいと思っていた	40.3%	住宅設備が古くなった	34.9%
3	家賃が高い(もったいない)	37.1%	金利の動向を見て	38.3%	子供が成長した	37.3%	子供が成長した	39.8%	家の使い勝手が悪くなった	33.7%
4	子供が成長した	33.9%	家が手狭になった	34.7%	家賃が高い(もったいない)	33.0%	家が古くなった	28.4%	家が手狭になった	25.3%
5	子供が誕生した	32.3%	子供が成長した	31.5%	金利の動向を見て	30.9%	家賃が高い(もったいない)	27.5%	資金のメドがついた	20.5%
6	結婚	22.6%	子供が誕生した	25.8%	希望の土地が手に入ったから	25.8%	希望の土地が手に入ったから	22.5%	災害に備えて	20.5%
7	希望の土地が手に入ったから	22.6%	税制が有利だから(住宅ローン減税・贈与税)	21.0%	子供が誕生した	22.7%	家の使い勝手が悪くなった	21.2%	子供が成長した	13.3%
8	家が手狭になった	17.7%	希望の土地が手に入ったから	19.0%	資金のメドがついた	16.3%	住宅設備が古くなった	19.5%	希望の土地が手に入ったから	13.3%
9	税制が有利だから(住宅ローン減税・贈与税)	14.5%	資金のメドがついた	12.9%	税制が有利だから(住宅ローン減税・贈与税)	15.9%	金利の動向を見て	16.9%	リフォームのつもりが建て替えになった	9.6%
10	家の使い勝手が悪くなった	12.9%	家の使い勝手が悪くなった	12.1%	家の使い勝手が悪くなった	13.7%	資金のメドがついた	14.0%	家賃が高い(もったいない)	7.2%
10	資金のメドがついた	12.9%								

住まいづくりの過程における主導権を世帯主の年齢別に見ると、34歳以下では他の年代に比べて夫婦「二人で決めた」割合が高い傾向が見られる。

- 住まいづくりの過程における主導権は、依頼先選び・プラン決定・設備選びという具体的なアクションをする段階となると夫婦「二人で決めた」割合が高くなる。
- 世帯主の年齢別に見ると、34歳以下では他の年代に比べて夫婦「二人で決めた」割合が高い傾向が見られる。

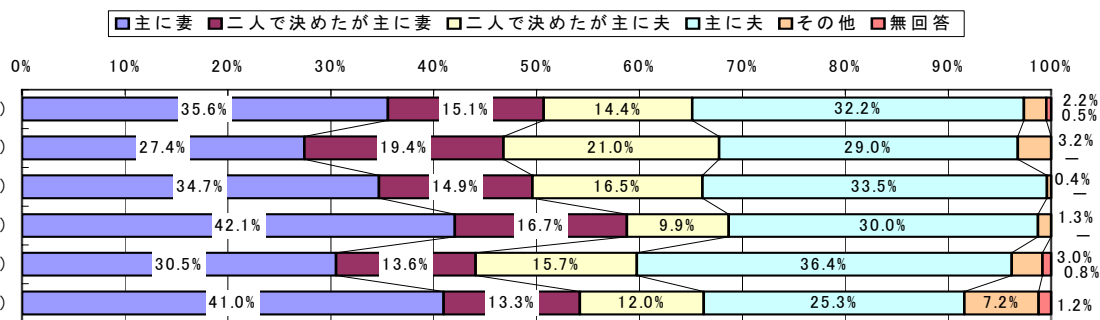
■ 住まいづくりの過程における主導権 「二人で決めた」割合 (全体/単一回答)

(「主に妻」「二人で決めたが主に妻」「二人で決めたが主に夫」「主に夫」「その他」のうち「二人で決めたが主に妻」「二人で決めたが主に夫」の二つの合計を「二人で決めた」と集計。詳細については、次ページを参照。)

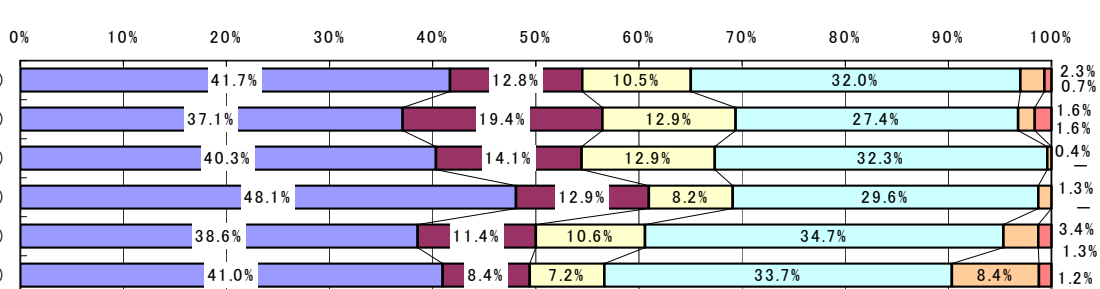


■検討プロセス別住まいづくりの過程における主導権(全体/単一回答)

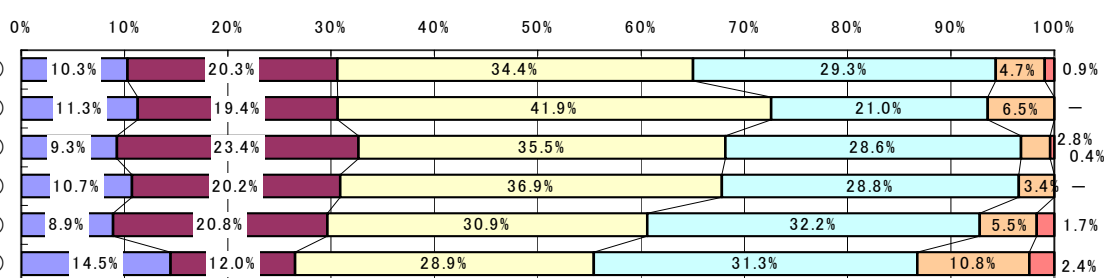
情報収集



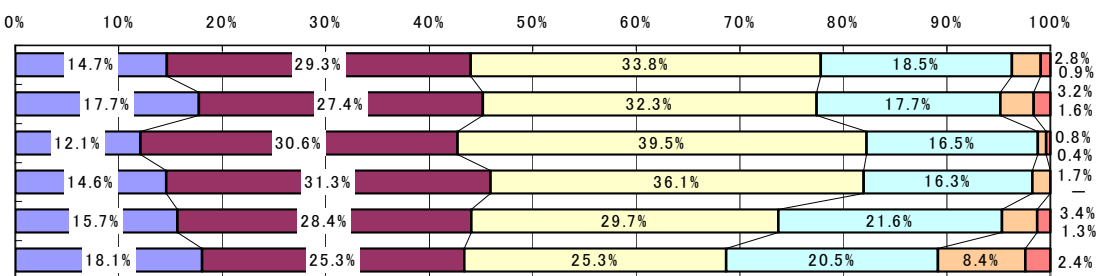
資料請求



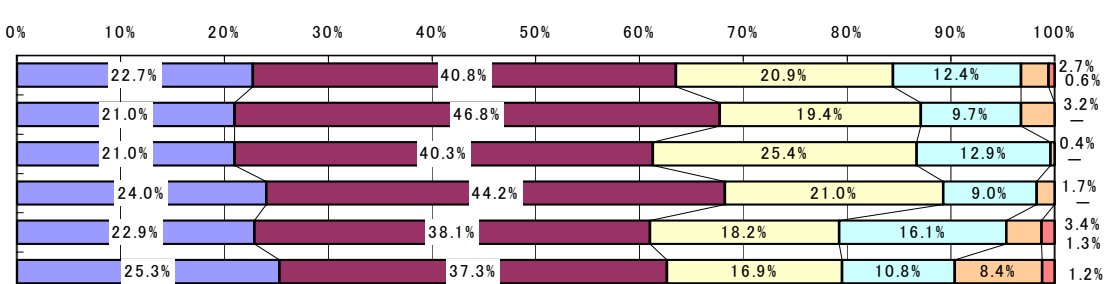
依頼先選び



プラン決定



設備選び

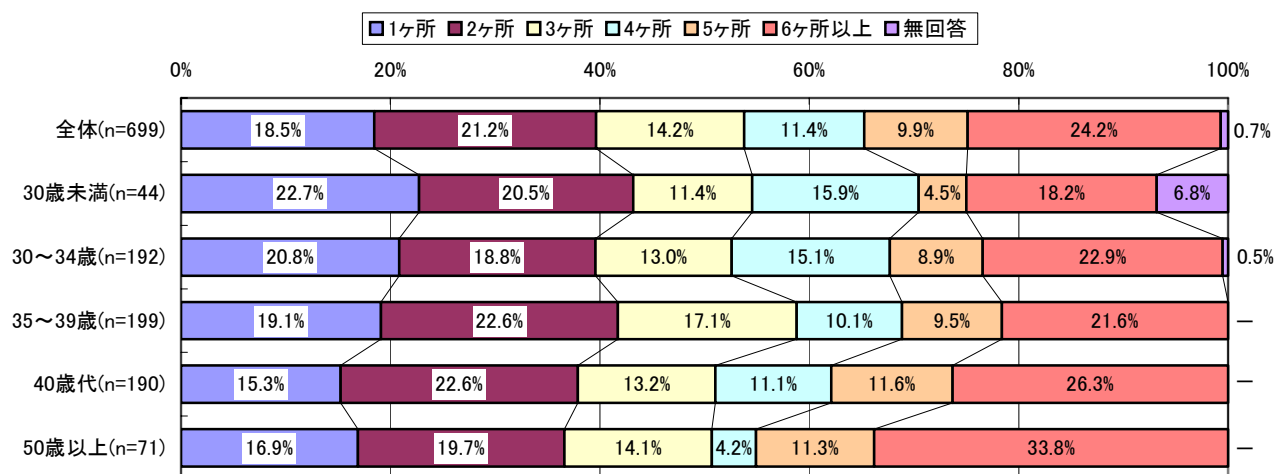


TOPICS

世帯主の年齢が若いほど、あまり多くのショールームを訪問せずに住宅建築をしている傾向が見られる。

- 訪問した、住宅関連の設備機器・内装品等が展示されているショールームの数を世帯主の年齢別に見てみると、「1ヶ所」の割合は年齢が若いほど高くなっている。
- 30歳未満以外のほとんどの年代では「6ヶ所以上」の割合が最も高く、特に50歳以上では1/3以上を占めている。

■ 訪問したショールームの数(ショールーム利用あり回答者/単一回答)



TOPICS

こだわった設備は、1位「キッチン」2位「バス」3位「トイレ」等、水まわりの設備が上位を占めている。

●新築・建て替えの際にこだわった設備は、1位「キッチン」2位「バス」3位「トイレ」等、水まわりの設備が上位を占めている。

■こだわった設備(設備採用回答者/複数回答)

